

経営比較分析表（令和6年度決算）

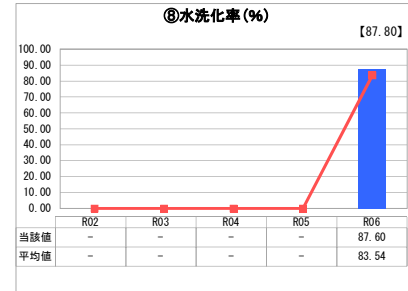
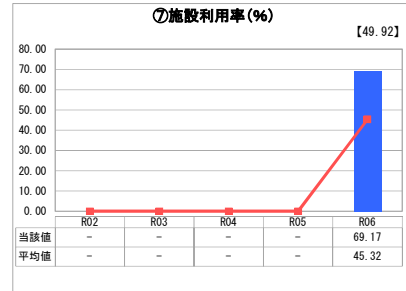
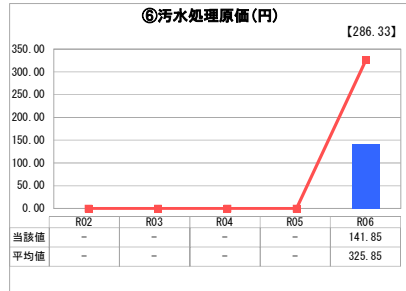
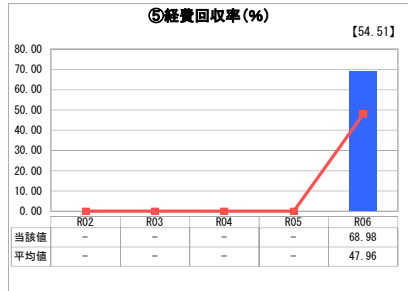
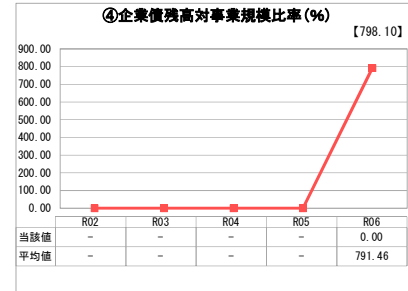
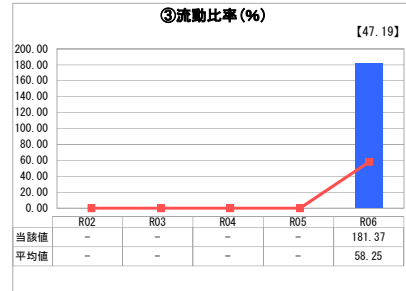
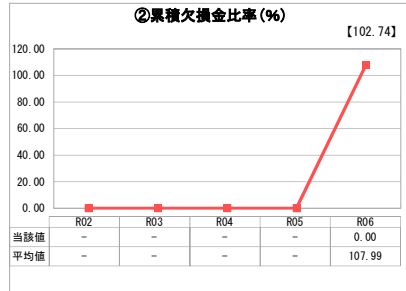
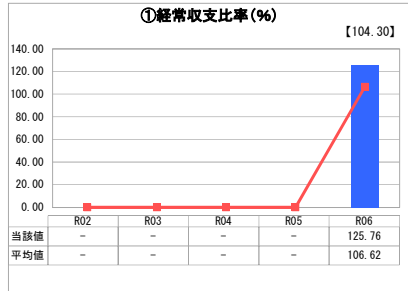
高知県 仁淀川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	78.85	16.55	100.00	2,600

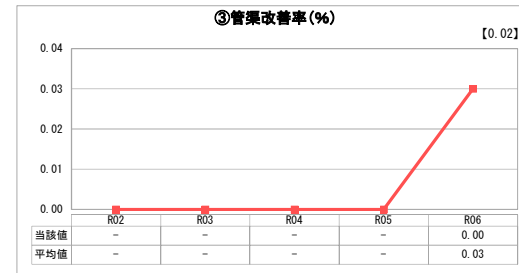
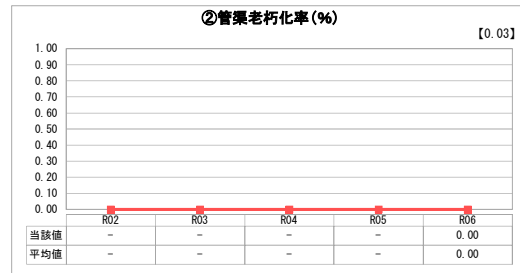
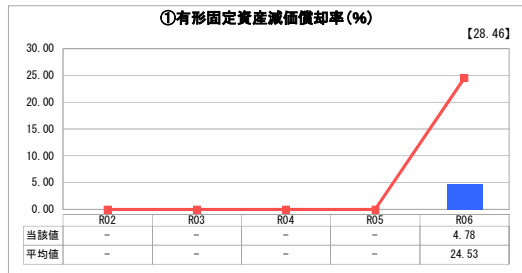
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,459	333.00	13.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
726	0.32	2,268.75

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は125.76%で、類似団体平均を上回っており、当該年度において収支が黒字である。今後、人口減による使用料収入の減少や、施設の老朽化に伴う修繕費の増加も懸念されているため、経営改善が必要となってくる。

②累積欠損金比率は0.00%で、累積欠損金は発生しておらず、現時点で健全な経営と言える。

③流動比率は181.37%で、短期的債務に対する支払能力は十分にあると言える。今後も現金等の流動資産額に注視していく。

④企業債残高対事業規模比率は0.00%で、類似団体平均を下回っているが、当指標により投資状況や使用水準、必要な更新を先送りしていないか分析が必要となってくる。

⑤経費回収率は68.98%で、類似団体平均を上回っている。100%は下回っているため、今後経営改善が必要となってくる。

⑥汚水処理原価は141.85円で、類似団体平均を下回っており、今後経営改善の検討を行う必要がある。

⑦施設利用率は69.17%で、類似団体平均を上回っており、適切な施設規模であると言える。

⑧水洗化率は87.60%で、100%へ向けてならんらかの取組が必要となってくる。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は4.78%で、類似団体平均を下回っており、施設更新の必要性は暫く問題がないと言える。

②管渠老朽化率は0.00%となっており、法定耐用年数を超える管渠延長は現時点で無いと言える。

③管渠改善率は0.00%で、今年度は管路更新を行っていない。

全体総括

経営については現時点で健全性が高いと言えるが、急速な人口減少に伴う需要減少等により、今後使用料収益は減少していくと考えられる。そのため、自主財源の確保が課題となるため、経営ビジョンの更新等経営改善の検討を行っていく。

ハード面においてはクリーンセンター施設・下水管等の老朽化等が進んでおり、早急な更新・耐震化が必要となっている。現在取り組んでいるが、増加する費用面を考えると、今後の経営改善検討が必要となってくる。

公営企業に携わる人材確保については、維持管理業務等で第三者委託を行っている。

また、近年の物価高騰により維持管理費等の収益的収支が増加傾向であるが、これについても経営改善の検討を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。